

宇美町共働のまちづくり推進のための指針（素案）に関する 意見募集（パブリックコメント）結果公表

この度は、「宇美町共働のまちづくり推進のための指針（素案）」について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

意見募集（パブリックコメント）をした結果について、次のとおり取りまとめましたので公表します。

今後、「宇美町共働のまちづくり推進のための指針」を広く町民の皆様にご覧いただき、町民の皆様と行政のパートナーシップに基づく共働まちづくりを推進していきたいと考えています。

町民の皆様のご協力を宜しく申し上げます。

1 意見募集（パブリックコメント）実施概要

(1) 内容	「宇美町共働のまちづくり推進のための指針（素案）」について、意見（パブリックコメント）を募集しました。
(2) 意見募集期間	平成25年5月1日（水）から平成25年5月31日（金）
(3) 意見提出対象者	町内在住、在勤・在学の方、事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体
(4) 意見提出方法	<ul style="list-style-type: none"> ①電子メール ②FAX ③郵送、持参 ④意見箱 <ul style="list-style-type: none"> ・宇美町役場総合案内 ・宇美町地域交流センター「うみ・みらい館」1階 町立図書館 ・宇美町健康福祉センター「うみハピネス」 ・ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」 ・宇美町働く婦人の家「し〜ず・うみ」
(5) 提出意見数	17件 <ul style="list-style-type: none"> ①電子メール 2件 ②FAX 0件 ③郵送、持参 14件 ④意見箱 1件

2 意見募集（パブリックコメント）結果（回答）

No.	ご意見（原文まま）	町の考え方
1	<p>全般</p> <p>短期的視点に寄り、長期的視点に欠けています。</p> <p>私なら、求められずとも自然に「共働」する人間を育てる為にはどうすれば良いか、を考えます。本物の「共働」は、育った人間からしか生まれえないと思うからです。</p> <p>「共働」を成立させるには、「自己」を確立する必要があります。共働は、経済的・精神的にピン立ちした人間同士で行うことで初めて成果が出ます。それ以外では、最初は暖かい気持ちで集まったはずなのに、集団が固定化したり、要らなくなったことを延々と続けたり、文句が出始めたりすることが予測されます（「5」を拝見する限り、ご理解の上だと思えます。）</p> <p>さて、「自己」を確立するには、まず「個性」を伸ばさなければなりません。「個性」とは、非常に抽象的な表現になりますが、「魂に刻まれた変更不能な自分特有のもの」と表現することが出来ます。つまり、個人に対して「個」として明確に自立できるような支援を行えば、自立した個人は、ゆくゆくは集団に利益を還元し始めます。満たされた人間は、他者を満たしません。</p> <p>故に、私は本当に有効な「共働」への道は、個人支援から始まると思います。「ひとづくりはまちづくり」です。「共働」を阻むものが何なのか。本当に「2」に述べられているようなものなのか、再度、考えてみられると宜しいかと存じます。</p>	<p>宇美町では、平成14年度に「まちづくりは人づくり」を基本理念とした第4次総合計画を策定し、町民の皆様が学習された成果等を地域の活性化等に生かす、生涯学習を基底に据えたまちづくりを進めてきたところです。</p> <p>また、平成23年度には、「自助・互助・共助・公助」をコンセプトとする第5次総合計画を策定し、官民連携や地域の自治力の強化に努めてまいりました。</p> <p>このような中、町民の皆様の自治意識の高まりとともに、地域の清掃美化作業を行う「ラブアース事業」や、未就学児とその家族が集い、互いに交流を図る子育て支援センター「ゆうゆう」の運営事業など、幅広い分野で多くの町民の皆様に参画をいただいております。</p> <p>本指針は、既存計画の「まちづくりは人づくり」という基本理念を継承しつつ、当町の歩みの中で見えてきた成果や課題等を検証し、個人活動への支援等も考慮に入れつつ、今後のまちづくりの方向性を明確にすることを目的として策定したものです。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

<p>使用されている単語の意味が全体的に不明確です。また、新聞に書かれている単語やニュースで語られた言葉をそのまま書き写したかのようです。相手が日本に来て半年程度の外国人だったとしても伝わるように、明確に定義してください。</p>	<p>わかりにくい単語の定義については、巻末に用語集を設けております。</p> <p>その他、不明な点等ありましたら直接お問い合わせください。</p>
<p>科学的根拠の無い思い込みによるのではないかと考えられる、結果から原因への単なる推測・仮説を、断定して語っているように見られる部分があります。</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>2 自分達の地域について</p> <p>2. なぜ今、共働が必要なのですか p.3 の 11 行目に、「自分達の地域は自分達で作る」とあります。</p> <p>そうでしょうか？人口の流動性の激しい時代に“自分達の地域”と呼べる人がどれだけ居るのでしょうか。また、“自治意識を持ち”とあるが、強制・強要するものではないと思います。どうでしょうか？</p>	<p>ご指摘のとおり、「自分達の地域は自分達で作る」という自治意識は、他者から強制・強要されるものではありません。町民の皆様等の自治意識の醸成を図るために、啓発活動の実施や、自治会を含む仕組みの構築を、町民の皆様等と行政で共に取り組んでいくことが重要であると考えております。</p>
<p>アンケートの実施について</p> <p>今回の「共働のまちづくり」も必要でしょう。しかし、町民が何を望み、どのような町で有って欲しいか、色んな提案もあると思います。</p> <p>是非、宇美町町民に対してアンケートを実施し、長期計画に役立てて欲しい。</p> <p>住みやすい町に人は集中します。町の発展とは何ですか。</p> <p>アンケート項目として考えられる分野、生活環境、教育、医療、税金、労働、交通網、発展性、将来性、など。</p> <p>30 年前の前原市と宇美町の発展を比較すると、何らかの違いが見えてくるのではないのでしょうか。</p>	<p>アンケートにつきましては、平成 22 年度に宇美町第 5 次総合計画策定のために住民意識調査を実施して町民の皆様のご意見をお聞かせいただきました。また、本年度は無作為抽出した 1,000 人の町民の皆様を対象に、地域コミュニティ及び共働の現状を把握するためのアンケートを実施することとしております。アンケートから得られた分析結果を踏まえまして、今後の計画や施策等の参考にさせていただく予定です。</p>

<p>活動の提案</p> <p>【経験豊かな高齢者（サポーター）の活用】</p> <p>背景</p> <p>①元気な高齢者が多い ②過去の経験を生かしたい ③世の中に貢献したい ④空いた時間を有効に活用した ⑤充実した生活を送りたい ⑥健康でいたい ⑦小遣いを稼ぎたい</p> <p>(1)依頼により仕事（サポート）する内容を受付</p> <p>仕事の依頼を受付ける受注窓口を設ける 手法：電話、FAX、メール</p> <p>(2)主な作業内容案（サポーターの仕事内容）</p> <p>①買い物、②送迎、③電球交換、④修繕、⑤ペンキ塗り、⑥代行出席、⑦除草作業、⑧家具移動、⑨講師・指導、⑩通訳・翻訳、⑪その他簡単な作業（訪問・確認など）</p> <p>(3)作業実施者（サポーター）の登録</p> <p>何ができるかを登録する制度にする 所有している免許・資格、活動可能な日時、期間</p> <p>参考、ハローワークの項目を参考にして構築する。</p> <p>(4)価格の決定</p> <p>具体的には多くを議論すべきと思います。 案、1件30分単位、500円（器具代・材料代は除く）</p> <p>実施体制</p> <p>・事務局（受注窓口、サポーター登録管理、会計、ルール作成）</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
---	--------------------------------

【観光地整備と誘致について】

観光地の例

①有名になるべき歴史的な所への観光誘致

- ・極楽寺（一度は行って見たい極楽の地へ）
- ・塔ノ尾公園
- ・光正寺古墳
- ・宇美八幡宮

②自然豊かな環境の活用

- ・難所ヶ滝（夏でも最高）
- ・昭和の森

③三郡山登山

- ・日帰り観光コースを整備

目的

- 1.観光地化して、多くの地場産業を発展させる。
- 2.労働の場を提供し、働きやすい、住みやすい町にする。

課題

1.観光地の整備

- ・観光バスの駐車場の整備
- ・交通網の整備

現在、遊休地のある間に道路と駐車場を整備し、多くの方が観光にこられても困らないようにする。

2.観光物産の開発と販売

おばあちゃん、おじいちゃん達の得意とする物（調味料、いきなり団子、柚子コショウ、竹細工、等）や美味しい米の販売など、開発し販売できる体制を作る。

3.観光地の宣伝広告

観光地を整備したら、あらゆる宣伝・広告の手段を活用して観光客を招く。

ご意見として、今後の参考とさせていただきます。

3	<p>1. 共働とはなんですか</p> <p>協働でなく、なぜ共働でしょうか？</p> <p>辞書を調べても、共働というのは、いまのところ「共働き」しか言葉が見当たりません。そのため、共通の認識をもちにくく、だから指針として定めるということとは思いますが、言葉が実態を表現していくということを考えると、わかりにくい印象です。</p> <p>協働との違いがわかるように意図することを謳った方がいいと思います。</p>	<p>宇美町では、町民の皆様等の各主体同士が対等な立場・関係で、共に考え、共に行動していくまちづくりの実現を目指すことをより明確に表すため、「協力して働く」「協働」ではなく、「共に働く」「共働」としています。</p>
	<p>2. なぜ今、共働が必要なのですか</p> <p>まちづくりにあたって、協働・共働が必要ということは理解はできますが、行政側から必要と言っている印象です。</p> <p>もっと、住民の目線での表現が必要のように思います。</p> <p>また、これは、「6. 共働することで期待される効果はなんですか」の個所とあわせて表現した方がよりわかりやすくなると思います。</p>	<p>本指針「3. 共働に関わる主体とはなんですか」においても第一に町民を示しておりますが、ご意見のとおり、町民の皆様等の目線での表現について留意いたします。</p>
	<p>8. 共働を進めるにはどうしたらいいですか</p> <p>「フィードバック」は、したことを点検し、問題点を解決していけるように、またさらに前へ、もっといいものにしていくために必要なことだと思いますが、行政の側は、認識を統一し、共有していけばいいと思いますが、町民の方は経験が少ないため、その方法がわかりにくいように思います。</p> <p>行政のサポートが重要になると思います。具体的には話し合いの場を持つことや住民や団体側からが主体的に相談することなどになるのだと思いますが、柔軟な対応が行政に求められると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、共働を進めるためには、様々な主体間の話し合いや相談の場の存在は重要と考えます。今後、そのような場を積極的に設けることを検討してまいります。</p>

	<p>9. 共働を進めるための環境づくり</p> <p>どれが先かはありますが、パブリックコメントなどで案が作られていかないことを望みます。</p> <p>先般行われたようなワールドカフェのようなものなども活用しながら、話し合いを重ねて住民との共通認識をつくって指針について確認していてもいいのではないのでしょうか？</p>	<p>本指針は、行政組織内でプロジェクトチームを立ち上げ、半年間にわたって職員による協議を行い、素案を作成いたしました。今後、社会情勢の変化等に合わせこの指針の内容を見直すことも必要ですので、その際には町民の皆様等と共に話し合いながら本指針を検証・改善していきたいと考えております。</p>
	<p>全般</p> <p>共働に領域があることはわかりますが、その判断は全て行政が行うことになるのですよね？</p> <p>全体的にやはり行政が鍵を握っていることになります。</p> <p>住民や団体が地域でのびのびと地域のために働けるような関わり方が求められるように思います。</p> <p>常に行政の側が共働での意識をどれだけしておくのかによるのでしょうか。</p>	<p>現在、町民の皆様等で構成する共働のまちづくり推進委員会（仮称）を設置し、そこで、共働事業の検証等を、町民や各団体の皆様等と共に行うことについて検討を進めております。</p>
4	<p>6. 共働することで期待される効果はなんですか</p> <p>地域社会の一員として、結びつきが強化されるのは良いと思います。</p> <p>7. 共働の原則</p> <p>パートナー同士、お互いに専門性を高めていくことは大事と思います。</p>	<p>本指針に基づいて、当町における共働の推進に努力してまいります。</p>
5	<p>共働について資料を読みましたが、イマイチ理解できませんでした。意見内容が違っていらすみません。</p> <p>夏祭りを開催したいと思い、行政、商工会、青年団などでまず実行委員会を立ち上げてみたらいいんじゃないのでしょうか？</p>	<p>本指針「5. 共働の形態にはどのようなものがありますか」にもありますように多様な共働の形態を考えております。</p>

6	<p>2. なぜ今、共働が必要なのですか</p> <p>とても素晴らしいことだと思います。実現すれば、宇美町という小さな町が、まわりの市町村から注目をうけると思うし、良い事と私は思います。</p> <p>ただ、今の時代の流れでは、実現はむずかしいと思います。町民の時間と労働がすごく必要になるからです。まずは、意識の改革を、根気強くやっていく事だと思います。この共働に理解し、賛同してくれる町民を増やす事から始めたら良いと思いました。</p>	<p>本指針に基づいて、当町における共働の推進に努力してまいります。</p>
7	<p>全般</p> <p>進めていくべきだと思う。心がぶれないようにしっかり土台をつくりたい。あとは内容。</p>	<p>本指針に基づいて、当町における共働の推進に努力してまいります。</p>
8	<p>全般</p> <p>資料を読ませていただきました。内容通りでいいと思います。社会情勢などに左右されるかもしれませんが、その時はスムーズに対応していく力（チカラ）が必要だと思います。</p>	<p>本指針に基づいて、当町における共働の推進に努力してまいります。</p>
9	<p>6. 共働することで期待される効果はなんですか</p> <p>現在は、行政と町民活動団体もしくはそれに近い皆さんで共働の基礎が作られるケースがほとんどで、とくに“町民”個人が積極的に参加する（できる、したくなる）ための事例的なイメージを載せるのは、どうでしょうか？</p> <p>やはり、住んでいる人の中でも、弱者である、ご老人や、子ども達、障がいを持つ方や、妊婦さん、若年夫婦などが守られるネットワークとして、共働というものが機能することを望まれていると思います。</p> <p>すべてに通じて言えることですが、皆が知ることができる、イメージすることができる、わかりやすい告知・PR・説明が必要であり、HP・アナログ広告・FBまで、さまざまなルートで一人でも多くの方“個人”に伝わるのが大切と感じます。</p>	<p>ご意見のとおり、様々な方々に幅広く本指針を活用していただくため、共働に関する事例集や手引書等の作成について検討してまいります。</p>

10	<p>6. 共働することで期待される効果はなんですか</p> <p>行政と商工会が、より関係を深め、新しい社会的事業の創出のため、共働していけばと思います。</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>全般</p> <p>具体的な共働をするターゲットができていない、もしくはわかりにくいので、その後の行動がわかりにくい。情報を自ら入手している人にとっては利用できるかもしれないが、ターゲットによっては、入手できない、もしくは入手しにくい場合もある。</p> <p>例えば、町民であれば、主婦なのか、老人なのかで働き方がかわるので、細分化が必要。さらに事業として行うのであれば、1つにしぼって、選択と集中でまず町民としての事例をつくるべく（ボランティア活動の底力に）。</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>9. 共働を進めるための環境づくり</p> <p>きっかけづくりの場の提供などは良いと思いますが、若い世代の人が入ってくるとは正直思えないというのが正直な感想です。</p> <p>減少している消防団なども、行政区で消防団員を出せない区は負担金を上げるなどのことを考えるべきではないでしょうか。</p>	<p>消防団に関する事等、具体的な方策については、今後地域の皆様と検討していきたいと考えております。</p>
13	<p>事例においても企業は関与していないように思われますが、難しいことなのでしょうか？</p> <p>「環境づくり」他県にあって地元が無いもの、例えば、温泉プール、老若男女、一日楽しめるコミュニティー広場（志免町のシーメイトのような…）新しい社会的事業を4つの主体で起こしてほしいものです。</p> <p>共働のまちづくり課、期待してますよ！！</p>	<p>今後、企業との共働事業を推進していくうえで、参考とさせていただきます。</p>
14	<p>9. 共働を進めるための環境づくり 出会い・交流の促進</p> <p>すばらしい取り組みだと思います。今まで以上に、出会い・交流の場を広め、設けていただきたいです。</p>	<p>本指針に基づいて、当町における共働の推進に努力してまいります。</p>

15	<p>全般</p> <p>宇美町を本体とした、昔ながらの祭りを復活させ宇美町をもっともっと元気にできないかと思う。</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>ラブアース事業について</p> <p>町ぐるみで地域清掃を行い、町全体の美化意識が非常に高いと感じられます。家族でこの事業に参加できるようにイベント的要素があると、もっと参加が増えると思われます。参照「まるごみ JAPAN」</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>宇美町における共働事業について（事例）の子育て支援センター運営事業</p> <p>宇美町の子育て支援を、宇美町民はもとより、宇美で働いているが住まいは町外の人など、宇美町外の住民に広く知ってもらうことにより、宇美に住みたいと思う人（若い人）を増やす必要あり。</p>	<p>ご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>